

第 16 回川崎港トライアスロン in 東扇島
兼 第 10 回川崎キッズ・ジュニアトライアスロン大会

2023JTU トライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ対象大会

競技運営マニュアル
【TO 用】

第 2 版

作成者	小金澤 光司
作成日	2023 年 9 月 9 日
最終更新日	2022 年 9 月 24 日

目次

第 16 回川崎港トライアスロン in 東扇島 兼 第 10 回川崎キッズ・ジュニアトライアスロン大会 2023JTU トライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ対象大会	1
目次	2
1. 3	
2. 4	
3. 5	
4. 9	
5. 10	
6. 20	
7. 20	
8 コース図	22
9. エリア詳細図-----	28

■ 略語一覧

TO	Technical Official テクニカル・オフィシャル（審判員）
TL	Team Leader チームリーダー
TD	Technical Delegate 技術代表
HR	Head Referee 審判長
CTO	Chief Technical Official チーフ・テクニカル・オフィシャル（各パートのチーフ TO）
SCTO	Sub-Chief Technical Official サブチーフ・テクニカル・オフィシャル（各パートのサブチーフ TO）
VO	Volunteer ボランティア
MD	Medical メディカル、医療チーム
KnTU	一般社団法人神奈川県トライアスロン連合

1. はじめに

このたびは、「第 16 回川崎港トライアスロン大会 in 東扇島」の競技運営をお引き受けいただきありがとうございます。

皆さんと力を合わせ、安全・公平を第一にアスリートファーストを目指し選手にまた出場したいと思われる大会を作り上げてまいりましょう。

キッズ・ジュニア・スプリント・一般リレーおよび一般カテゴリーの競技運営マニュアルを作成しました。ご確認ください。マニュアルにないことが起こるのは、トライアスロン競技運営では日常茶飯事です。皆さんの現場対応力に期待いたします。

一流の TO は、自分の持ち場で何が起こるか、その際にはどうするかを事前に考えているものです。また、レース全体の流れを把握し、臨機応変に動けることが大切です。

昨年に引き続き本大会では、ボランティアの皆さんに TO 配置箇所の一部を担っていただく運営とします。TO の皆さんには、競技判断が必要な場所を担っていただき、それ以外は、できる限りボランティアの皆さんにお任せ下さい。

TO の皆さんには広い範囲をフォローいただき、複数の役割をお願いしております。また、当日の状況に応じ、別のポジションのサポートに回っていただくなど、臨機応変に対応いただく場合があります。何卒ご協力いただけますようお願いいたします。

競技関係資料は次のサイトに随時アップされます。適宜ご確認ください。特に選手にどういう情報が送られているかを知ることが大切です。

グーグルドライブ内にファイルを保存しています。

https://drive.google.com/drive/folders/14eAUSRx1kKZIOa-8iU8ErvGNK_I6DINe

ご使用時は必ずダウンロードしてからご覧ください。ダウンロードしないで使用すると上書きされてしまう恐れがありますのでご注意ください。

チームリーダー：新津 桂一郎

技術代表：小金澤 光司

2. 大会概要

大会名称	第 16 回川崎港トライアスロン in 東扇島 兼 第 10 回川崎キッズ・ジュニアトライアスロン大会
開催日	2023 年 10 月 1 日(日)
会場	神奈川県川崎市川崎区東扇島 58-1 東扇島東公園周辺特設会場
主催	川崎港トライアスロン in 東扇島大会実行委員会
主管	一般社団法人神奈川県トライアスロン連合(KnTU)
後援	川崎市・一般社団法人川崎市観光協会・川崎市スポーツ協会 公益財団法人川崎港振興協会・公益財団法人神奈川県スポーツ協会 公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU) ほか
協力	川崎市トライアスロン協会・横浜市トライアスロン協会 公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU) 関東ブロック協議会ほか
協賛	ローソン・味の素・スポーツクラブ NAS

<大会役員・実行委員会>

役職	氏名
大会名誉会長	嶋崎 嘉夫
大会会長	中山 俊行
大会副会長	渡邊 英夫
実行委員長	高崎 聡
レースディレクター(RD)	杉浦 博
大会本部	杉浦 真由美
チームリーダー(TL)	新津 桂一郎
技術代表(TD)	小金澤 光司
審判長(HR)	山田 和彦

<審議委員>

カテゴリー	氏名	
キッズ/ジュニア/スプリント/ 一般の部リレー/一般の部	中山 俊行	大会会長
	高崎 聡	実行委員長
	小金澤 光司	技術代表

3. 競技内容/スケジュール

1. 競技カテゴリー

No	カテゴリー	出場人数	競技開始	レースナンバー	スイムキャップ
1	キッズ・低学年の部 (小学 1-3 年)	31 人	09:00～ (09:00～09:18)	1 — 31	緑
2	キッズ・高学年の部 (小学 4-6 年)	34 人	09:15～ (09:15～09:34)	51 — 84	黄
3	ジュニアの部 (中学生)	23 人	09:30～ (09:30～09:58)	101 — 123	赤
4	スプリントの部 (高校生以上)	85 人	10:10～ (10:10～12:14)	601 — 680 高校生 701 – 705	青
5	一般の部 A (18 歳以上)	236 人	11:30～ (11:30～15:40)	201 — 436	白
6	一般の部 B (18 歳以上)	236 人	12:30～ (11:30～15:40)	201 — 436	白
7	一般リレーの部 (18 歳以上)	4 組	11:25～ (11:30～15:40)	501 — 504	白
	合計	409 人+4 組			

全カテゴリー：ローリングスタート：5 秒ごとに電子音を合図に 2 人ずつスタート

レースナンバー614：パラ（左足大腿部切断）の中山賢史朗選手がスプリントの部に参加。

他の選手同様にスプリントの部の表彰対象者です。

レースナンバー669：パラ（視覚障害）の鹿沼由理恵選手がスプリントの部に参加。

ガイドと競技を行う為、オープン参加の表彰対象外者です。タイム計測は通常通り行います。

2. 距離/周回数

No	カテゴリー	総距離	スイム	バイク	ラン
1	キッズ・低学年の部 (小学 1-3 年)	2.55km	50m (50m x 1)	1.5km (0.75km x 2)	1.0km (1.0km x 1)
2	キッズ・高学年の部 (小学 4-6 年)	3.1km	100m (100m x 1)	2km (1.0km x 2)	1.0km (1.0km x 1)
3	ジュニアの部 (中学生)	7.2km	200m (200m x 1)	5km (5.0km x 1)	2.0km (1.0km x 2)
4	スプリントの部 (高校生以上)	25.75km	750m (375m x 2)	20km (5.0km x 4)	5.0km (2.5km x 2)
5	一般の部 (18 歳以上)	51.5km	1500m (500m x 3)	40km (5.0km x 8)	10.0km (2.5km x 4)
6	一般リレーの部	51.5km	1500m	40km	10.0km

	(18 歳以上)		(500m x 3)	(5.0km x 8)	(2.5km x 4)
--	----------	--	------------	-------------	-------------

3. タイムスケジュール

<2023 年 9 月 3 0 日(土)>

内容	時間
集合(役員/TD/HR/CTO/SCTO) 大会本部	12:00
集合 TO(審判員) ※前日対応予定者 大会本部	12:00

<2023 年 10 月 1 日(日)> ※詳細は、別紙タイムスケジュール表を参照

内容	時間
集合(役員/TD/HR/CTO/SCTO) 大会本部	05:30
集合(各 TO) 大会本部	06:00
競技開始前 TO ミーティング	06:00 - 06:15
【選手】 駐車場オープン	07:15
【選手】 受付 (キッズ/ジュニア/一般)	07:15 - 08:30
【選手】 開会式	08:30 - 08:35
【選手】 競技説明会 (キッズ/ジュニア/一般)	08:35 - 08:40
トランジションチェックイン	
キッズ/ジュニアの部	07:45 - 08:40
スプリント	07:45 - 09:00
一般リレーの部/一般の部	07:45 - 09:00
競技	招集 スタート - 終了見込
キッズ・低学年の部 (小学 1-3 年)	08:50 09:00 - 09:18
キッズ・高学年の部 (小学 4-6 年)	09:05 09:15 - 09:34
ジュニアの部 (中学生)	09:20 09:30 - 09:58
スプリントの部 (高校生以上)	9:50 10:00 - 12:04
一般の部 A (18 歳以上)	10:55 11:10 - 15:20
一般の部 B (18 歳以上)/一般リレーの部 (18 歳以上)	11:25 11:40---15:50
トランジションオープン (バイクピックアップ)	
キッズ/ジュニアの部	09:50 - 10:20
スプリント	11:20 - 12:30
一般リレーの部/一般の部	14:50 - 17:00
表彰式 *アナウンスで実施	
キッズの部/ジュニアの部	10:45 - 11:00
スプリント	12:20 - 12:35
一般リレーの部/一般の部	17:00 - 17:15
競技終了後 TO ミーティング (全体)	17:00-17:15 頃

<大会前日・当日連絡先>

大会本部 (杉浦 真由美) : 070-3236-2277

チームリーダー (中丸 明寛) : 080-1084-8427
技術代表 (小金澤 光司) : 080-3010-5630

2023 年 9 月 30 日(土)・10 月 1 日(日) 集合場所地図

<東扇島東公園 (大会本部・駐車場)>



<会場までのアクセス方法>



- 自家用車：国道 132 号線を東扇島方面に向かい、海底トンネルを抜けて東京方面へ進む
- 自転車：国道 132 号線を東扇島方面に向かい、海底トンネル「人道」を通行して東扇島へ上陸し東京方面へ進む
(※注) 海底トンネルの車道は自転車では通行出来ません。「人道」を通行して下さい。
- バス：川崎駅東口から、川 05 系「東扇島循環」に乗車し「東扇島東公園前」で下車

2022/10/2(日) 大会当日の始発：川崎駅 05:50 発 – 東扇島東公園 06:15 着

(※注) バスでご来場の TO の方は、集合時間(06:00)に間に合いませんので事前にご連絡下さい。

<自家用車で来場される方へ>

TO サイトから駐車証をダウンロードし、印刷して持参下さい。

駐車場 2(大会 TO、運営者用)へ入場いただき、駐車証をフロントウィンドウのよく見える位置に表示して下さい。

4. 服装/持ち物

服装(ドレスコード)

種類	ドレスコード	備考
上半身	JTU 審判員ポロシャツ(白黒)	[※注意] 忘れた場合、ベスト等貸与はありません。
下半身	黒のスラックスまたは半ズボン	
帽子	JTU キャップ	
靴	黒推奨	・動きやすいもの。派手なものは避けてください。 ※スイムパートについては、必要以上に裸足にならない。
サングラス	色の薄いものについて使用を許可	
雨具(雨天時)	透明レインコート	・傘の使用は不可とします。

持ち物

持ち物	備考
JTU ルールブック	2019 年 1 月改定版
JTU 公認審判員資格証	
筆記用具(ペン・メモ帳)	
ホイッスル	※緊急時に使用。使用する場合は人に向かって吹かない。ピ・ピ・ピと短く吹く。
イエロー/レッドカード	・お持ちの方は持参ください。
エマージェンシーシート	・お持ちの方は持参ください。 ※低体温の選手の保護のため。
バイク・ヘルメット	・「ラン」パートで「移動」担当の方は、持ち込みいただけますようお願いします。 ・「移動」担当以外の方で、大会本部エリアから遠方のポジションを担当される方は、移動を容易にするために可能であれば準備をお願いします。
バイク用工具一式	・「トランジション」・「バイク」パート担当の方は、六角レンチ・ドライバー等、お手持ちの範囲で携帯できる物を持参ください。 ・主に、トランジションでのバイクチェック時に必要な場合に使用します。

5. 各パート別 TO マニュアル

※競技ルールについて：JTU 競技規則（2019 年 1 月改正版）に準拠します。

内容が理解できていない TO は事前学習をよろしくお願いいたします。

https://archive.jtu.or.jp/jtu/pdf/rulebook_20190123.pdf

※また、KnTU 独自で作成した各大会共通の運営マニュアルが以下サイトに収められています。ご一読下さい。

https://drive.google.com/drive/folders/14eAUSRx1kKZlOa-8iU8ErvGNK_l6DINe

※本大会ローカルルール

- (1) 制限時間 スプリントの部：2 時間、一般の部：4 時間
- (2) スプリント、一般の部および一般リレーの部ではトライアスロン用ウェットスーツ着用が必須
- (3) スキップ制度を設ける（詳細後述）

受付

- 受付の対象者
 - TO、選手を受付対象とする。
 - 応援者、公園への一般来場者は受付対象外とする。
- 受付の導線
 - 地面に白テープで矢印誘導し受付（QR チェックイン）入口へ 1 レーンの一方通行導線とする。
 - 受付手前で 3 列に分岐、3 名の係員が QR チェックイン端末でスキャンし健康チェックシートを受取る。
- ボディナンバリング
 - 受付周辺にて選手のボディナンバリングを実施する。（スイムキャップにレースナンバー記載なし）

1. 競技説明会

- オンライン競技説明会の実施
 - 事前にオンライン競技説明会の動画をインターネット上に公開し、選手に視聴してもらう。
- 大会当日の競技説明
 - <キッズ/ジュニア/スプリント/一般リレーの部/一般の部>
 - オンライン競技説明会内容からの変更点のみアナウンスする。

2. 開会式、表彰式、閉会式

- 開会式、表彰式、閉会式の実施
 - 表彰台の設置し、記念品の贈呈を実施する。
- リザルトの掲示
 - 大会本部付近でリザルト速報を掲示する。（大会終了後、ホームページにてリザルトを公開する。）

3. スイム

■ 選手招集

※招集時間を MC からのアナウンスにて誘導する。

※招集グループ内では、レースナンバー順での整列は不要とする。

※アンクルバンド受領後、「マスク廃棄 ⇒ 試泳 ⇒ スタート」と順次誘導してスタートする。

■ スタートプロトコル

<キッズ/ジュニア/スプリント/一般の部/一般リレーの部>

➢ 5 秒ごとに電子音を合図に 2 人ずつスタートするタイミングスタート形式とする。

➢ 砂浜の計測ポイントを踏んだ時点から計測開始とする

■ 制限時間

スプリントの部：30 分（最終スタートから）

一般の部：60 分（最終スタートから）

■ レスチューブの使用については下記の通り

➢ キッズ/ジュニア/スプリント/一般リレー/一般の部で使用可能だが、使用した選手は、DNF とする。

■ ボディナンバリング

➢ 受付時に選手の左右上腕部に、油性マジックでレースナンバーをボディーマーキングする。

■ スイムでは、支給されたスイムキャップを必ず着用

■ <担当業務>

N O	業務	詳細
1	水温の計測	・TD 立会で水温計測 08:00：キッズ/ジュニア/スプリント/一般リレー/一般の部
2	スイムコース設営	・スイムエリアの設営、カテゴリー別のコース転換 ・トランジションへの導線設営、スイムエリアの清掃 ・ブイ設営サポート、計測ポイント確認 ・競技終了後の撤収 <パラ選手対応> *スプリントの部：2 名 レースナンバー614：中山賢史朗選手(左足大腿部切断、片足義足) ・十分な広さの確保。(選手の競技用義足・松葉杖の設置に必要) レースナンバー669：鹿沼由理恵選手（視覚障害、ガイド選手あり） ・スタートは、カテゴリー最後尾から。(安全確保の為) ガイドのスイムキャップは当日本部で配布。
3	スイム受付	・アンクルバンド配布、入水人数の確認 ・スイムスキップ受付 トランジション TO にスキップ情報連携。
4	試泳の管理	・入水タイミングのコントロール
5	スタート管理	<キッズ/ジュニア/スプリント/一般リレー/一般の部> ・タイミングスタートのコントロール (5 秒ごとに 2 人ずつスタート) ※スタートの計測マットの 5m 以上後方から選手をスタートさせる。 (計測マットの誤反応を防ぐため)
6	スイム競技審判	・ルール違反時の対応

		<キッズ/ジュニア/スプリント/一般リレー/一般の部> ・選手への是正指導 *注意を促しても是正されない場合は HR へ報告
7	水上監視	・IRB に乗船し水上監視 (安全管理、ショートカット確認)
8	出水人数確認	・リタイア・タイムオーバー選手を把握し、出水人数を確認する。
9	スイムアップ後のコントロール	<キッズ/ジュニア/スプリント/一般リレー/一般の部> ・トランジション入口までスイムパートとしてスイムタイムに含める。 ・トランジションエリアまでの導線コントロール
10	リタイア選手対応	<アンクルバンドの回収> ・TO がアンクルバンドを回収する。競技終了後、大会本部へ返却する。 ・メディカル要請の有無・リタイア理由・場所・レースナンバーを記録し無線所持 TO へ連携する。 <リレー選手対応> ・DNF 情報をトランジション TO に連携。
11	スキップ管理	・試泳後のスキップ選手対応は、アンクルバンドを一旦回収してからバイクウェアへの着替えを許可する。 ・アンクルバンドは、スイム TO のスキップ担当に引き渡し、スキップスタート時に選手へ配布する。 ・スタート時間は、担当 TO 判断で変更可能。
12	救護対応	※2022 年に実施したレスキューシミュレーションを行う。 ・救護を要する選手をライフセーバーから救護用の岸壁にて引き受ける。 ・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート
13	応援者のコントロール	・応援者が競技エリアへ入らないようコントロールする。 ・応援者同士のソーシャルディスタンスを確保するようコントロールする。

■ <スキップ制度について>

- スプリントの部/一般の部において、スイムスキップを認める。
- 一般リレーの部では、スイムスキップとバイクスキップを認める。
- スイムパートを予定していた選手がスイムを競技しない場合、またはスイム競技中に DNF となった場合、バイクパートの選手からスタートすることができる。

カテゴリー	スイムスキップ	バイクスキップ	
スプリント	許可	×	スイムに不安を抱える選手は、スイムを競技せずバイクパートからスタートすることができる。
一般の部	許可	×	
リレーの部	許可	許可	スイムまたはバイクパートを予定していた選手が、競技しない場合、または競技中に DNF となった場合、次のパートの選手からスタートすることができる。

- 各パートのタイムは計測するが、参考記録扱いとし表彰対象にはしない

■ スイムスキップ

カテゴリー	受付時間	受付場所	招集時間	スタート時間	スタート場所
-------	------	------	------	--------	--------

スプリント	10:00	スイム招集エリア	10:20	10:30	スイムスキップゾーン
一般 A	11:15	スイム招集エリア	12:20	12:30	スイムスキップゾーン
一般リレー/一般 B	12:15	スイム招集エリア	13:20	13:30	スイムスキップゾーン

- スイムスキップ選手のバイクスタート時間は、スイム TO スキップ担当の判断で 12:30 または 13:30 前にスタートさせてもよい。
- スイムスキップを希望する選手は、当日スイム招集エリアにてスイムスキップを申告する。
- スタート後のスキップは、一切認めない。(スプリント/一般の部)
- スイム招集エリアから、アンクルバンドを受け取って試泳を実施した選手もスキップを認める。
- 試泳後のスキップ選手対応は、アンクルバンドを一旦回収してからバイクウェアへの着替えを許可する。
- アンクルバンドは、スイム TO のスキップ担当に引き渡し、スキップスタート時に選手へ配布する。
- 選手は、スイムウェア(ウェットスーツ等)、バイクウェアのいずれの状態からでもスタート可能とする。
- ローリングスタートとし、スイムスキップゾーンからスイムフィニッシュ計測マットを通過しトランジションに入りバイクスタートする。

■ バイクスキップ

カテゴリー	受付時間	受付場所	ランスタート時間	スタート場所
一般リレー	14:00	トランジションリレーゾーン	14:10	トランジションリレーゾーン

- バイクスキップを希望する場合、ランパートの選手がトランジション TO に申告し受付をする。
- スキップ選手のアンクルバンドはトランジションリレー担当 TO が準備し選手に配布する。レースナンバー・アンクルバンドナンバー等を記録する。
- スタートは、トランジションリレーゾーンからランスタート計測マットを通過しランスタートする。
- リレーでのバイク DNF の場合、バイク TO からトランジション TO へ DNF 情報・アンクルバンドを連携する。

4. トランジション

■ トランジションタイムの扱い

<キッズ/ジュニア/スプリント/一般リレーの部/一般の部>

➤ T1・T2 のタイムをバイクタイムに含める。

■ バイク・ヘルメットチェック

<キッズ/ジュニア/スプリント/一般リレー/一般>

➤ 目視でのバイクチェックを基本とする。(ブレーキ、突起物、ストラップ確認等)

■ リレーゾーンの設置

トランジション内に設置する。スイムアップ、ランスタート出入口付近に設定。

選手間のアンクルバンド受渡しは、リレーゾーン内で行う。

■ バイクラックに目印をつけることは禁止。

※ トランジションエリアにセットするもの：自転車、ヘルメット、シャツ、シューズ、帽子、タオルなど

2. <担当業務>

N o	業務	詳細
1	トランジションエリア設営	・トランジション内及び隣接エリアの設営 (コーン・バーの設置及び看板・ガムテープ表示等の設営) ・トランジションリレーゾーンの設営 ・スイムスキップゾーンの設営 ・1 つのバイクラックに対して、両掛けは 8 台、片掛けは 4 台とする。 ・危険な箇所を確認した場合には、安全が確保できるよう設営する。 <パラ選手対応> *スプリントの部：2 名 専用ラックを設営。 - レースナンバー614：中山賢史朗選手(左足大腿部切断、片足義足) ・十分な広さの確保。(選手の競技用義足・松葉杖の設置に必要) ・パイプ椅子の設置。 - レースナンバー669：鹿沼由理恵選手 (視覚障害、ガイド選手あり) ・十分な広さの確保。 ・競技終了後の撤収
2	トランジションオープン時間管理	・タイムテーブルに従って、トランジションをオープンする。 ・バイクピックアップのオープン時刻を、タイムテーブルを基準にコントロールする。 ・早くフィニッシュした選手が速やかに自転車を引き取って帰路につけるよう、トランジションエリアを早期解放できるように検討する (レース状況を確認してチーフが最終判断し、MC (フセガワさん) へ放送を依頼する。)
3	トランジション入場者管理	・受付完了者のみ入場可能とする。(レースナンバー持参者のみ) ・競技者および特別に許可を受けた者以外の立入を禁止する。 ・キッズ選手のセッティングにサポートが必要であれば TO が手伝う。
4	バイク・ヘルメットチェック	<キッズ/ジュニア/スプリント/一般リレー/一般の部> ・目視でのバイクチェックを基本とする。(ブレーキ、突起物、ストラップ確認等) ・スマートフォンの確認 GPS/サイクルメーターとして使用する場合のみ装着可能
5	ペットボトルの確認	・ボトルホルダーにペットボトルを装着している場合には、外すよう指示する。 ・選手がいない場合は、TO が取り外す。

6	スキップ・リレー管理	<スイムスキップ> スイム TO が担当する。 <バイクスキップ> ・アンクルバンドを準備し選手に渡し、スタート時間にスタートさせる。レースナンバー、アンクルバンドナンバー、スタート時刻を記録する。 ・リレーのバイクパート選手がスキップ・DNF の場合、ランパート選手は、リレーゾーンからスタートさせる。
7	バイクピックアップ入場者管理	・入場待機エリアを設定する。(バイクチェックイン時と同様の設定) ・受付完了者のみ入場可能とする。(リストバンドの着用を確認する) ・バイクピックアップにて、レースナンバーを照合する。
8	横断路管理	・横断路のコントロールを行う。TO 指導のもとボランティアに任せてもよい。 <対象の横断路(2 カ所)> トイレ側横断路 ×2 カ所
9	リタイア選手対応	<アンクルバンドの回収> ・TO がアンクルバンドを回収する。競技終了後、大会本部へ返却する。 ・メディカル要請の有無・リタイア理由・場所・レースナンバーを記録し無線所持 TO へ連携する。
1 2	救護対応	・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート
1 3	応援者のコントロール	・応援者がトランジションエリアへ入らないようコントロールする。
1 4	降車ライン管理	・選手は TO を目指して降車を試みるので、TO は降車ライン手前に立ち、降車ラインオーバー違反を防ぐことも可能

5. バイク

■ ドラフティング

<キッズ/ジュニア/スプリント/一般リレー/一般>

- 禁止とする。(選手間の距離を確保するよう注意を促す。)
- 違反者には「イエローカード」を提示し、ストップ＆ゴーのペナルティにて対応する。(JTU 競技規則 第 108 条)

■ バイク競技に使用する自転車は以下の通り

カテゴリー	自転車
キッズ/ジュニア/スプリント	ロードレーサー以外の自転車 (MTB) での参加可能
一般リレー/一般	ロードレーサー、TT バイク (左記以外の自転車では参加不可)

※『固定ギヤ車』『ブレーキ無し車』など、競技者に危険を及ぼす恐れのある自転車の利用は厳禁

- ヘルメットは『自転車専用』を必ず着用。「カスク」「ヘッドギア」等の利用は厳禁。
- 前開きファスナー付ウェアの着用は可。フィニッシュ手前 200m 以降はファスナーを閉めること。
- 小中学生の DH バーの装着は禁止。
- スマートフォンのバイクへの取り付けは、GPS/サイクルメーターとして使用する場合に限り許可する。通話や撮影に使用することは禁止。

- 周回数確認のため、サイクルメーターの装着を推奨する。

■ <担当業務>

N o	業務	詳細
1	モーターバイクの管理・運用	・バイク TO 用のモーターバイクの管理と運用 <モーターバイク(2 台)>
2	バイクコース設営・撤収	・バイクコースの設営、カテゴリー別のコース転換 ・キッズ低学年・高学年の周回地点が異なるので注意。カテゴリーの最終選手が通過したことを確認し転換する。 <パラ選手対応> *スプリントの部：2 名 レースナンバー-614：中山賢史朗選手(左足大腿部切断、片足義足) ・特別な対応必要なし。 レースナンバー-669：鹿沼由理恵選手（視覚障害、タンデムバイク使用） ・折り返し等での注意喚起。当日試走してもらい問題ないか確認。 ・競技終了後の撤収
3	先導	・各カテゴリーの先頭選手をモーターバイクで先導する。1 周のみ ・無線で情報を連絡する。
4	最終選手の確認	・各カテゴリーの最終選手を確認し、無線で情報を連絡する。
5	危険箇所の誘導	・バイクコース上の危険箇所にて、選手の誘導を実施する。 ※例年、バイクコース上に駐車トラックが数台有り。 ⇒カラーコーンを設置して明確な誘導・注意喚起をする。 ⇒当日危険箇所を確認し、必要に応じて TO を配置する。
6	危険走行・キープレフトのチェック	・危険走行・キープレフトが遵守できていない選手へ注意し是正を促す ※原則として声を出さず、ホイッスルとジェスチャーで注意を促す。
7	ドラフティングのチェック	・ドラフティング違反に対しては「イエローカード」を提示し、ストップ&ゴーのペナルティにて対応する。(JTU 競技規則 第 108 条)
8	バイク競技審判	・ルール違反時の対応 ・選手への是正指導 *注意を促しても是正されない場合は HR へ報告
9	バイク乗車・降車ライン管理	・バイク乗車・降車ラインにて、選手へ注意を促す。
1 0	リタイア選手対応	<アンクルバンドの回収> ・TO がアンクルバンドを回収する。競技終了後、大会本部へ返却する。 ・メディカル要請の有無・リタイア理由・場所・レースナンバーを記録し無線所持 TO へ連携する。 <リレー選手対応> ・DNF 情報をトランジション TO に連携。
1 1	救護対応	・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート
1 2	応援者のコントロール	・応援者が競技エリアへ入らないようコントロールする。

1 3	警備員との連携	・大会当日、バイクコースに車両等侵入しないように警備員を 10 名配置。エリア担当 TO は、当日警備員と挨拶・状況共有する。
--------	---------	---

6. ラン

- リタイア選手の対応
- TO がアンクルバンドを回収する。競技終了後、大会本部へ返却する。
- ランでは上下ウェアを着用すること。「上半身はだか」での競技禁止。
- 前開きファスナー付ウェアの着用は可。フィニッシュ手前 200m 以降はファスナーを閉めること。
- ランではシューズを着用すること。「裸足」での競技禁止。
- スマートフォンを携帯して競技することは、GPS として使用する場合に限り許可する。通話や撮影に使用することは禁止。
- ランの周回チェックはアンクルバンドによる「機械周回チェック」を行う。

<担当業務>

N o	業務	詳細
1	受付導線設営・管理	・大会本部エリアの受付の導線を設営する。 <受付時間> : 07:15～08:30
2	ランコース設営・撤収	・ランコースの設営、カテゴリー別のコース転換。 <パラ選手対応> *スプリントの部：2 名 専用ラックを設営。 レースナンバー614：中山賢史朗選手(左足大腿部切断、片足義足) ・特別な対応必要なし。 レースナンバー669：鹿沼由理恵選手（視覚障害、ガイド選手あり） ・ガイドロープ使用。堤防のコース幅が狭い箇所、試走してもらい問題ないか確認。 ・他選手へのコース幅狭い箇所、パラ選手への配慮及び注意喚起。 ・競技終了後の撤収
3	先導	・各カテゴリーの先頭選手を自転車で先導する。 ・無線で情報を連絡する。
4	最終選手の確認	・各カテゴリーの最終選手を確認し、自転車で最後尾を追尾する。 ・無線で情報を連絡する。
5	ラン競技審判	・ルール違反時の対応 ・選手への是正指導 *注意を促しても是正されない場合は HR へ報告
6	リタイア選手対応	<アンクルバンドの回収> ・TO がアンクルバンドを回収する。競技終了後、大会本部へ返却する。 ・メディカル要請の有無・リタイア理由・場所・レースナンバーを記録し無線所持 TO へ連携する。
7	救護対応	・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート
8	応援者のコントロール	・応援者が競技エリアへ入らないようコントロールする。

7. エイドステーション

■ 選手への提供方法

- TO が給水コップに水を注ぎ、テーブルに配置する。
- 選手は自らコップをピックアップして補給する。
- 熱中症対策のため、砕いた氷なども用意する。

＜担当業務＞

N o	業務	詳細
1	エイドステーション設営	・スイムエリア 試泳前後・スイムアップ後に水分補給の出来る場所に設置。 ・ラン・プロムナード上に 1 カ所設置 (コース図参照)
2	エイドステーション管理	・下記の実オペレーションとする。 ・紙コップへ水を入れてテーブルに置き、選手が自らピックアップする。 ・熱中症対策のため、砕いた氷なども用意する。

8. フィニッシュ

■ フィニッシュテープの使用

- フィニッシュテープを使用する。(全カテゴリー)

■ フィニッシュ後の導線

- スペースを広く確保し、一方通行の導線とする。

■ アンクルバンドの回収

- 選手が自ら外し、回収ボックスに投入する。

■ 水の提供

- 未開栓のペットボトルをテーブルに配置し、選手が自らピックアップする。

■ フィニッシュにおける意図的な同着は禁止。

■ 同伴フィニッシュは禁止。

■ 着順は、計測チップがフィニッシュライン上に達した瞬間とする。

■ 複数の競技者が同時にフィニッシュする場合は、フィニッシュ TO が判定を行う。

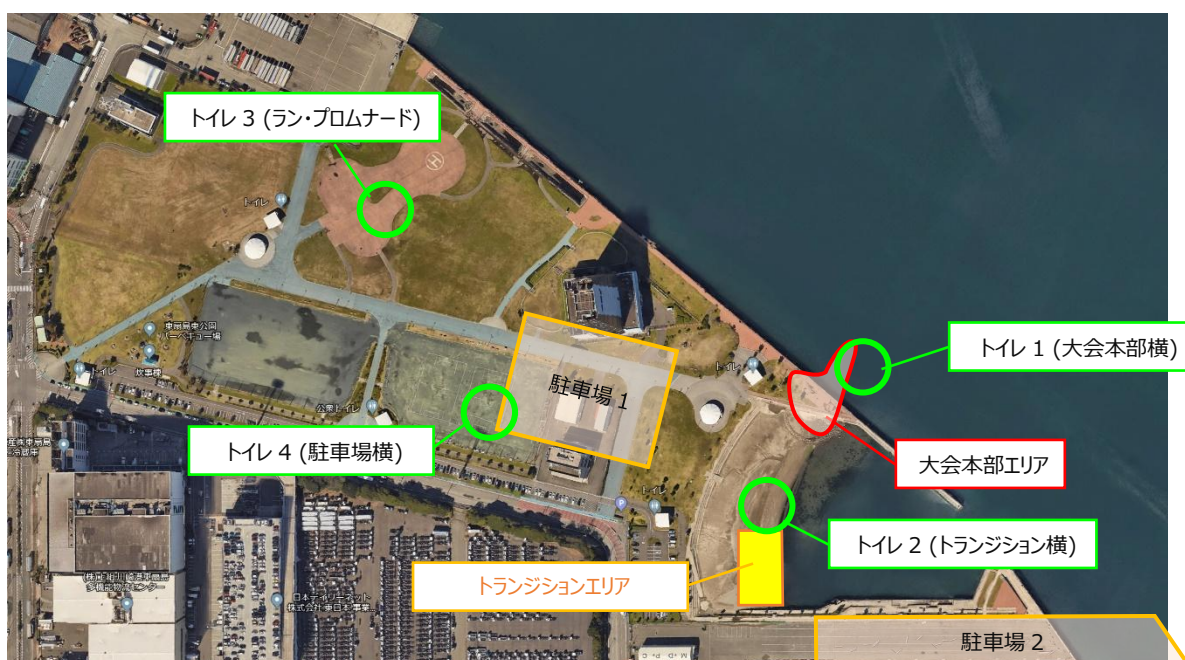
- ※ 競技者の胴体の一部がフィニッシュラインを通過した瞬間を判定する。

＜担当業務＞

N o	業務	詳細
1	フィニッシュエリア設営・撤収	・フィニッシュエリアの設営 (関係者以外、立入出来ないよう設営する) ・カメラマンの撮影用エリアを確保する。 ・フィニッシュゲート通過後に、十分な広さを確保する。 ・「アンクルバンド回収」「水の提供」のエリアを設置する。 ・選手が一方通行となる導線を設定する。 ・競技終了後の撤収
2	フィニッシュストレート管理	・フィニッシュ前の周回分岐のコントロールをする。

		・同伴フィニッシュ禁止のコントロールをする。 ・「レースナンバーは前へ」「サングラスは外す」を促す。 (TO を配置出来る場合は、声を出さずにジェスチャーで促す。)
3	着順判定・記録	・フィニッシュライン上で、着順判定を実施し記録する。
4	フィニッシュエリア管理	・一方通行の導線をコントロールする。
5	アンクルバンド回収	・選手が自ら外し、回収ボックスに投入する。
6	水の提供 (ペットボトル)	・未開栓のペットボトルをテーブルに配置し、選手が自らピックアップする。
7	受付サポート	・選手・応援者受付(07:15～08:30)時に、受付サポートを実施する。
8	横断路管理	・横断路のコントロールを行う。 <対象の横断路(1カ所)> 大会本部・トイレ横 x1カ所
9	救護対応	・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート
1	応援者のコントロール	・応援者がフィニッシュエリアへ入らないようコントロールする。
1		

9. トイレ・手洗い場所



10. メディカルチーム

■ メディカル体制

- 医師 1 名、看護師 2 名をメディカルチームとして、大会本部に配置する。

6. 注意事項

1.TO としての心得

- TO は尋ねられる。
⇒毎年、周回不足による DSQ が発生しています。また、周回オーバーする選手も多くいます。既定のコース/周回数を答えられるようにしてください。
- ⇒レース開始時間、トイレ・更衣室の場所、バイクピックアップ時間等も同様です。
- TO は見られている。
⇒挨拶は率先して行いましょう。TO 一同様々なポイントで丁寧に解り易く競技者に接することを心がけてください。
- ⇒業務以外の写真撮影は禁止です。
- 持ち場で起こり得ることを事前にシミュレーション。
⇒選手が転倒した場合、コースミスした場合等、各自の持ち場で起こり得ることを想定し、対応を考えておいてください。
- 競技会場は貸切りではありません。一般の方も利用されます。協力をお願いするというスタンスで一般の方と接してください。

2.その他大会ルール

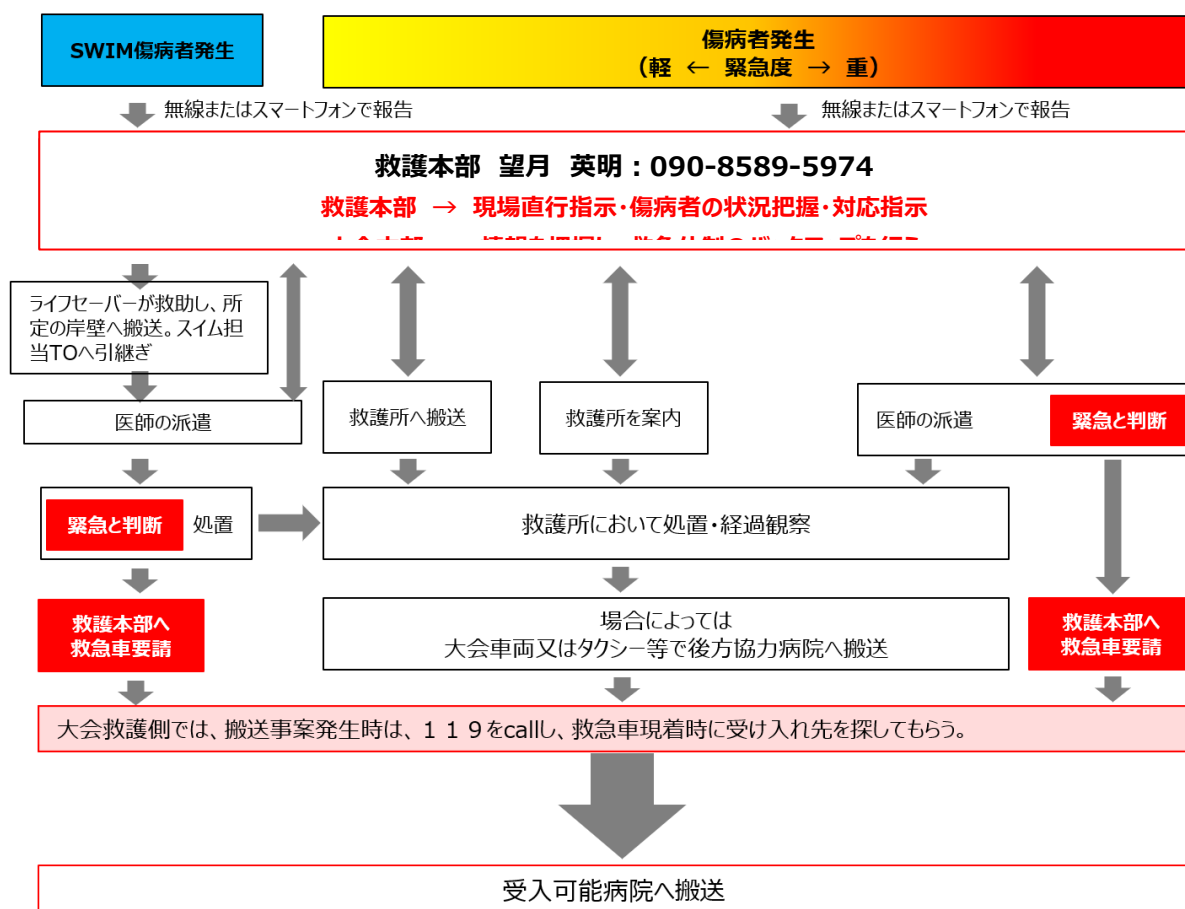
- 荷物預かりは車の鍵のみ。大会本部にて預かる。
- 荷物は基本的に個人で管理する。
- 貴重品預かりはなし。
- ※ どうしても荷物を置く場所が無いと選手から問い合わせがあった場合のみ、トランジションの隅の荷物置き場に誘導する。大会にて責任は負えない旨を説明する。

7. 緊急時の対応

- 安全は全てに優先します。
- 傷病者を発見したら、他の競技者への 2 次災害防止にも配慮し、様態の確認を行ってください。
- 傷病者が意識／呼吸のない場合は、直ちに「119 番通報」し大会本部へ無線連絡してください。
- それ以外の傷病者を発見した場合も、大会本部・救護本部に連絡しその指示に従って対応してください。
- 無線がない場合は、チーフかサブチーフまで連絡してください。

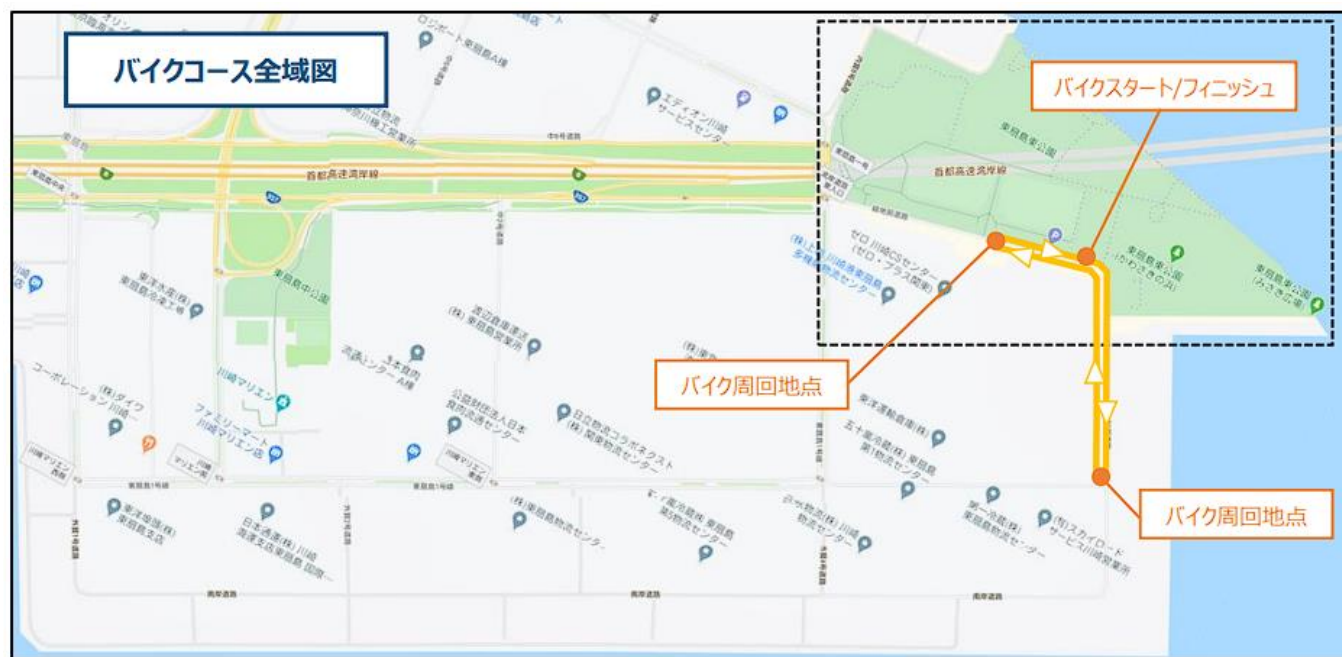
大会本部 (杉浦 真由美) : 070-3236-2277

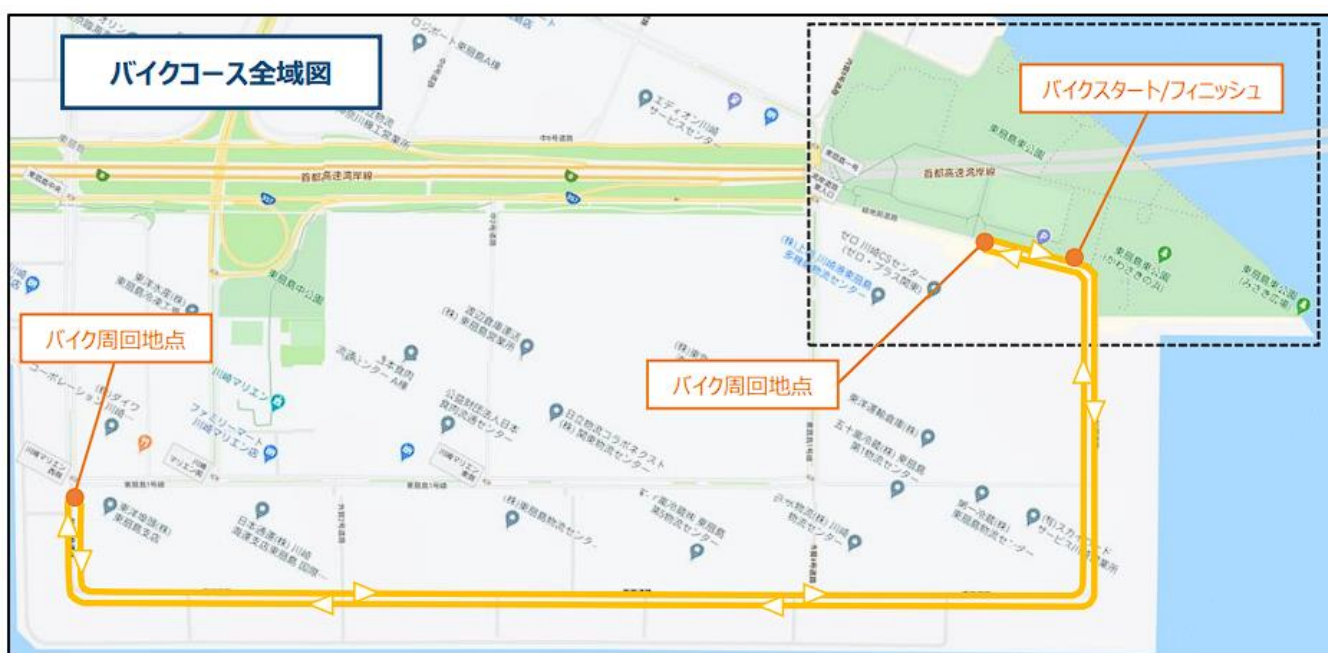
救護本部 (望月 英明) : 090-8589-5974



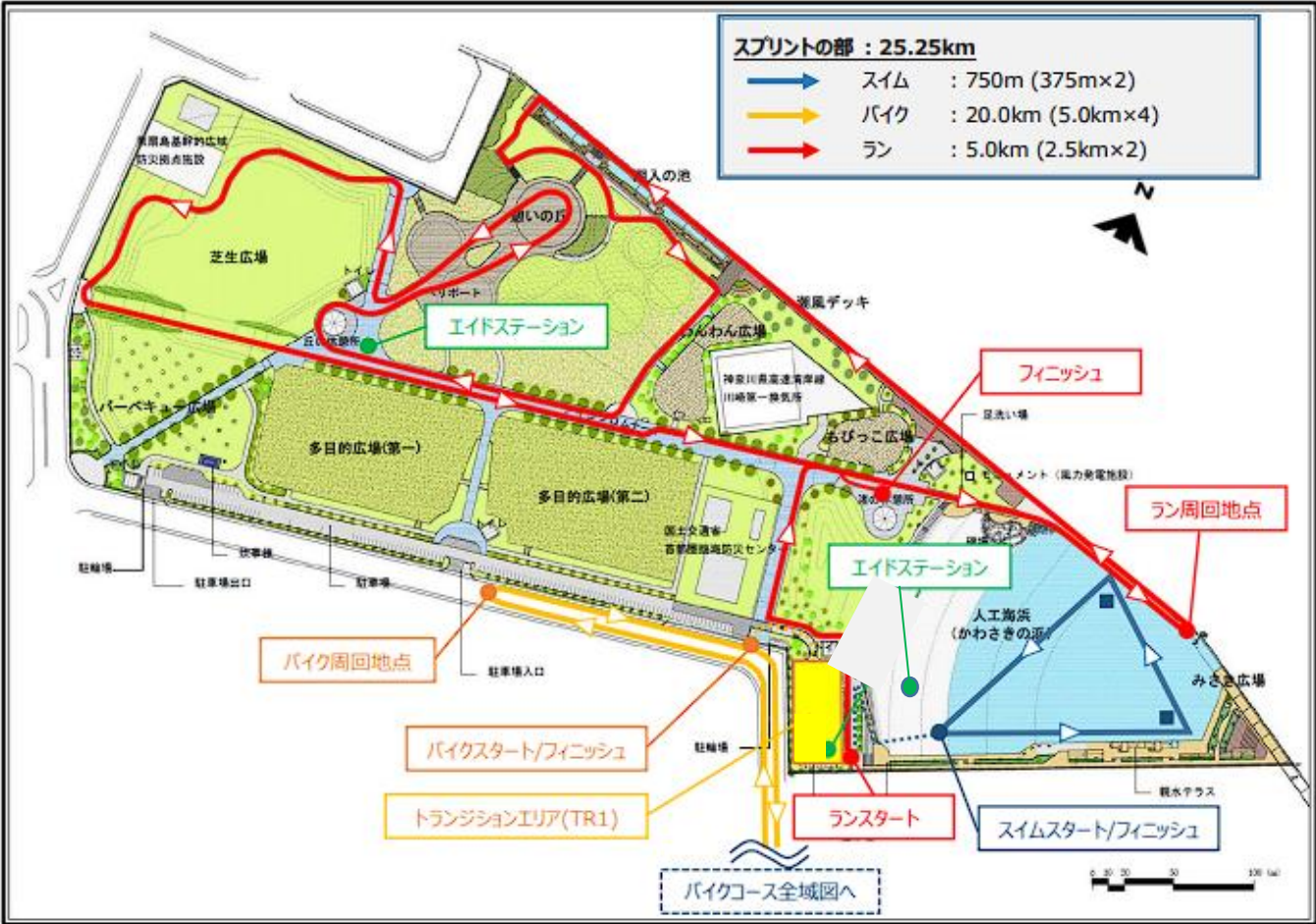
緊急車両の導線

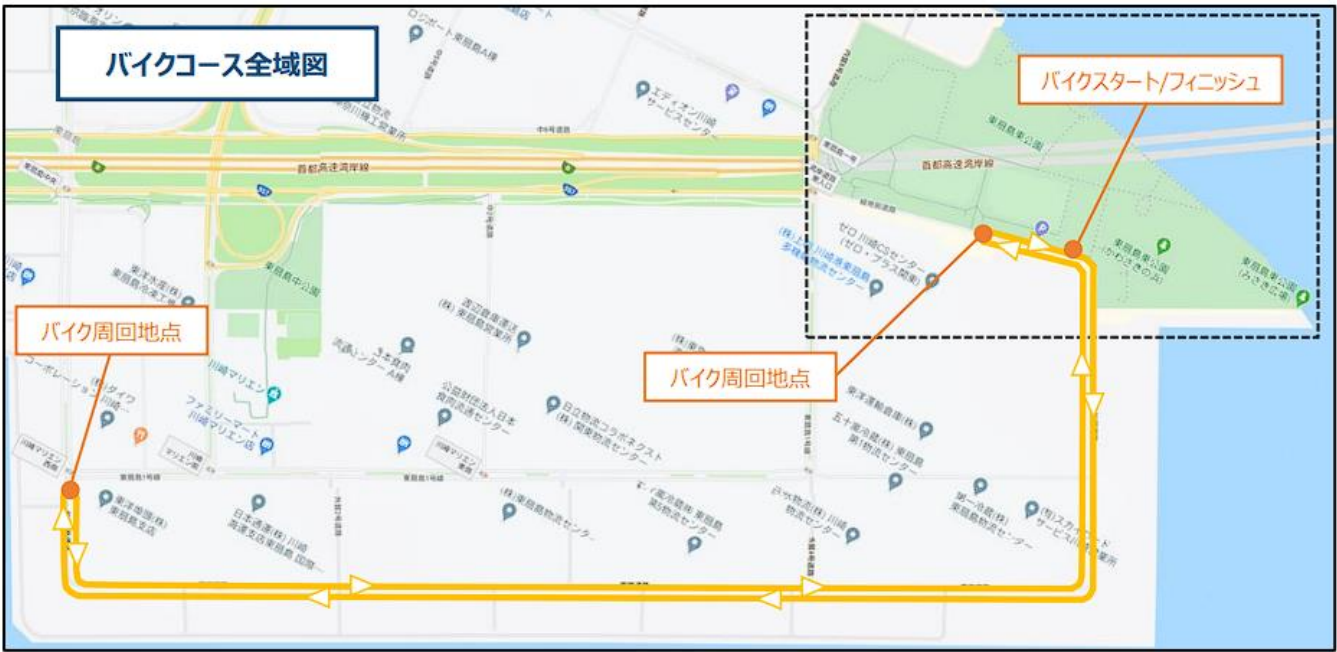


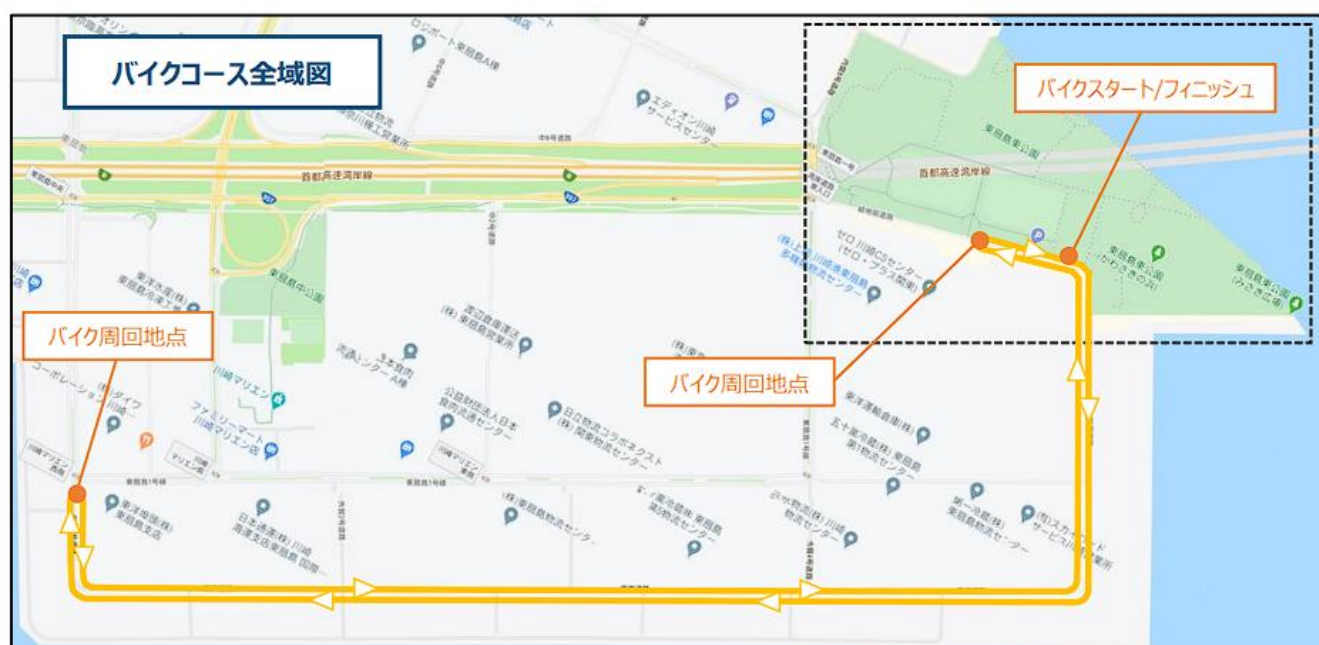




4.スプリントの部

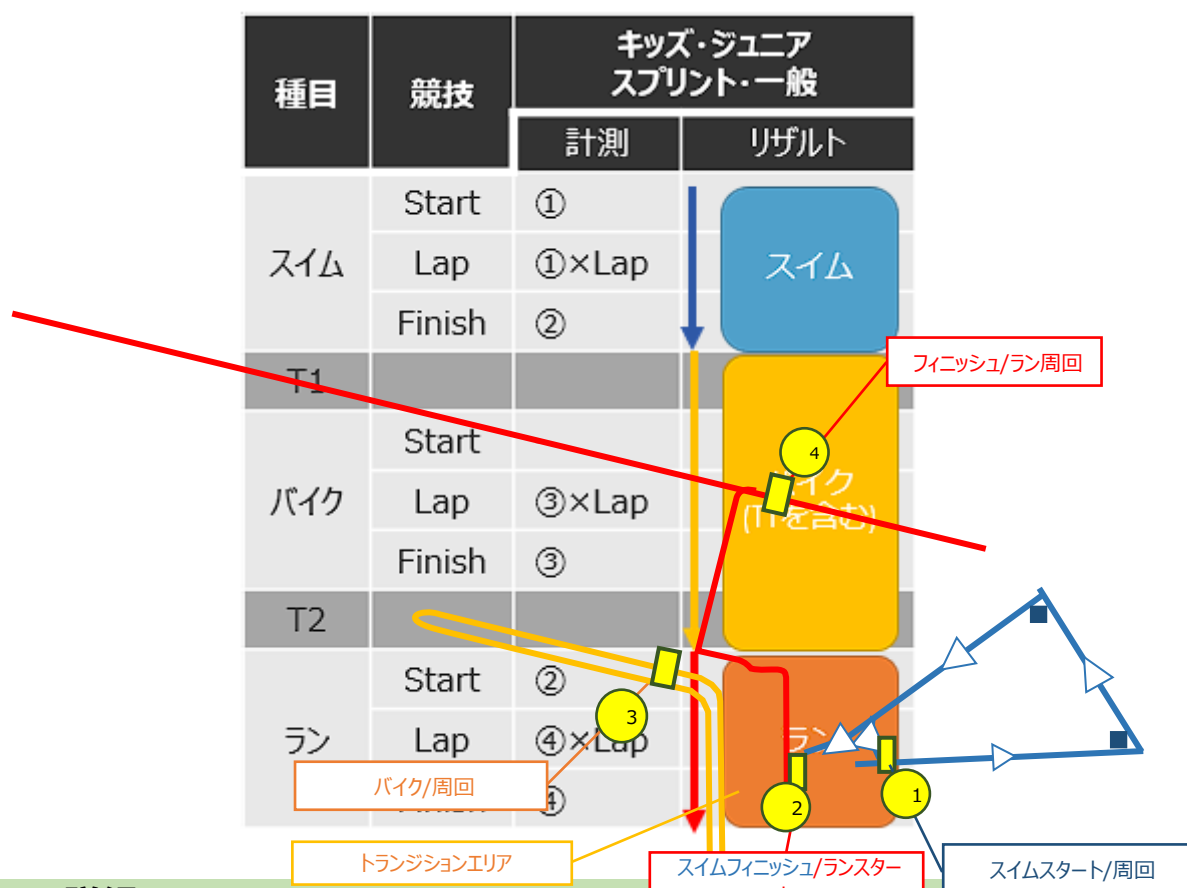






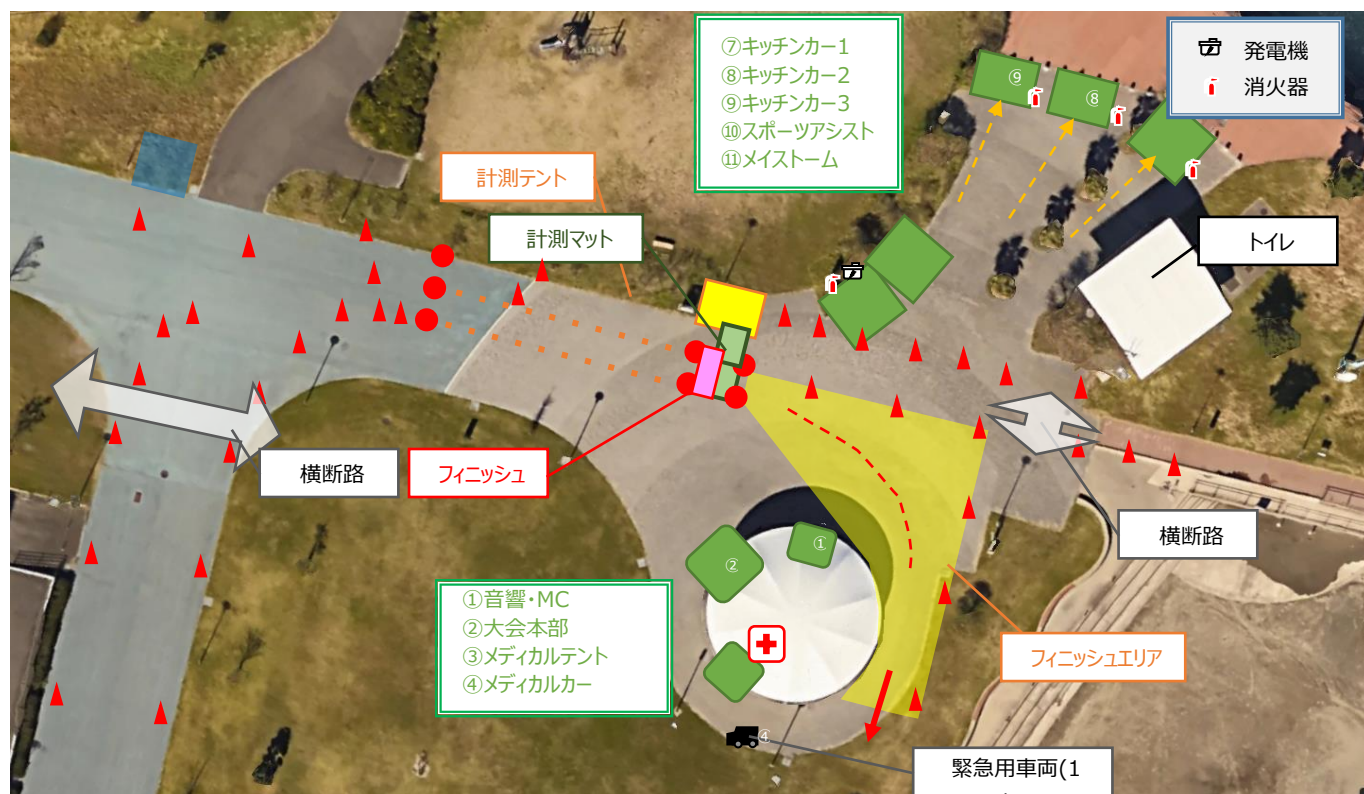
計測ポイント





9. エリア詳細図

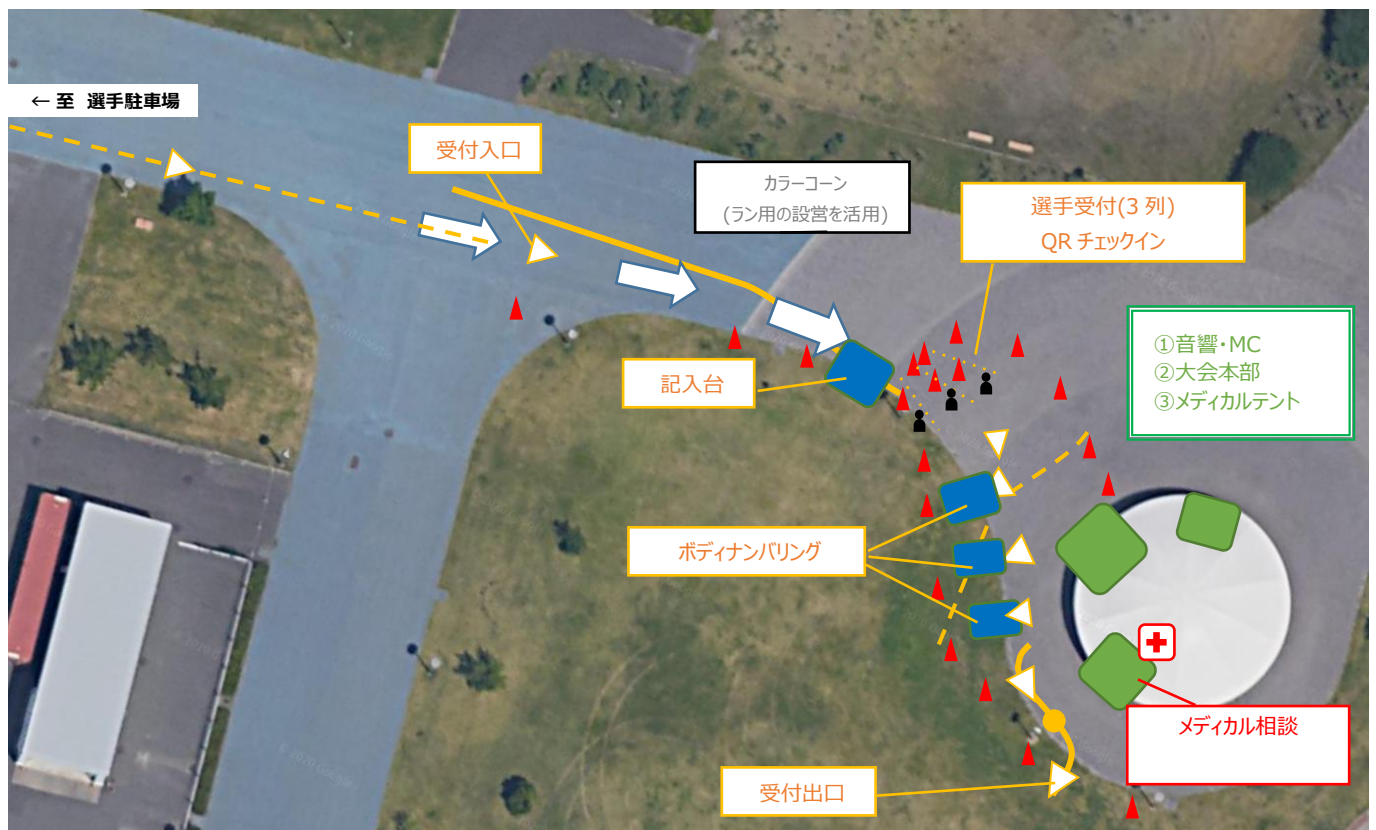
1. 大会本部エリア詳細図



2. 受付導線図

07:15～08:30 : 選手受付導線(キッズ/ジュニア/スプリント/一般リレー/一般の部)

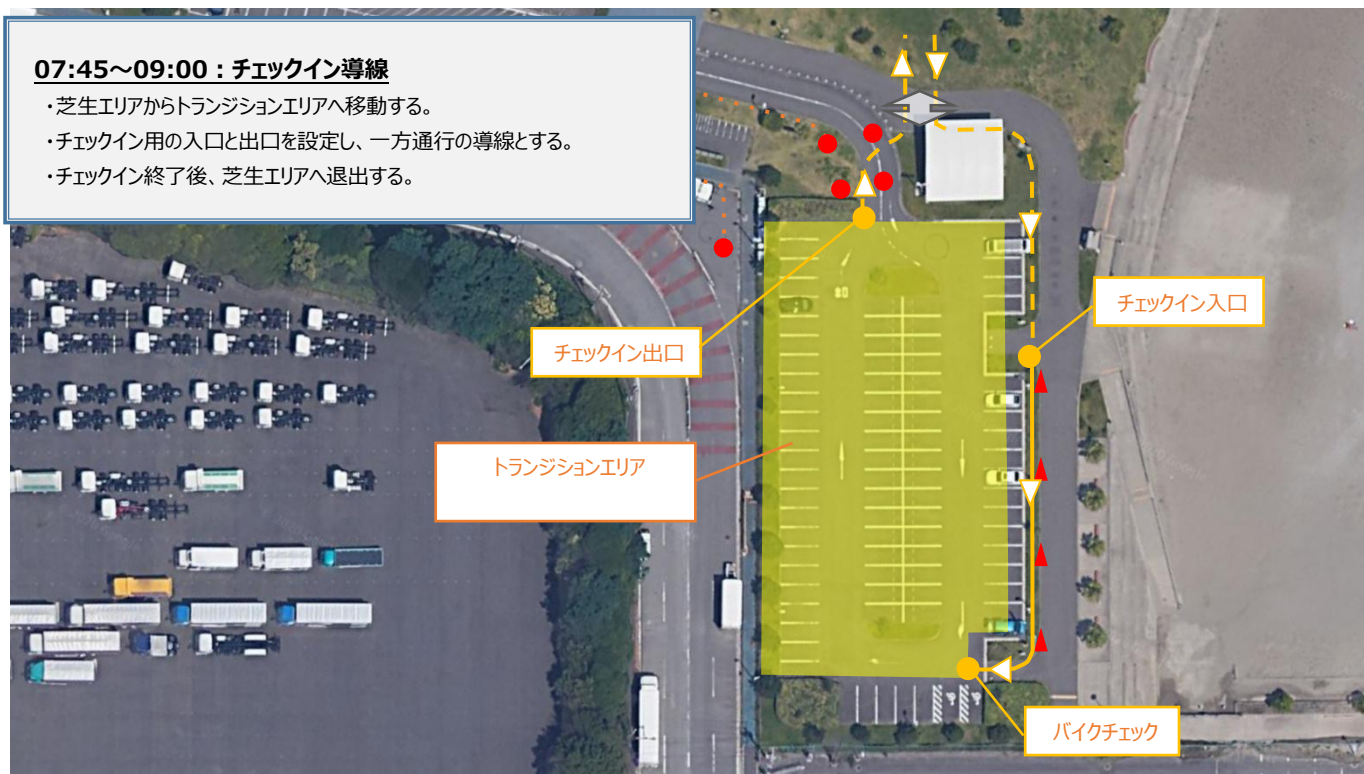
- ・地面に白テープで矢印誘導し受付（QR チェックイン）入口へ 1 レーンの一方通行導線とする。
- ・選手は、ソーシャルディスタンス(1m)を確保して整列する。
- ・受付手前で 3 列に分岐、3 名の係員が QR チェックイン端末でスキャンし参加同意書を受取る。
- ・受付終了後、ボディランバリングを行い、芝生エリアへ退出し、密にならない行動を促す。
- ・選手駐車場からの列が長くなった場合には、受付入口に向けて一列に並ぶよう TO・ボランティアが整列を促す。
- ・コーンは、ラン用を転用する。



3. トランジション・チェックイン導線図

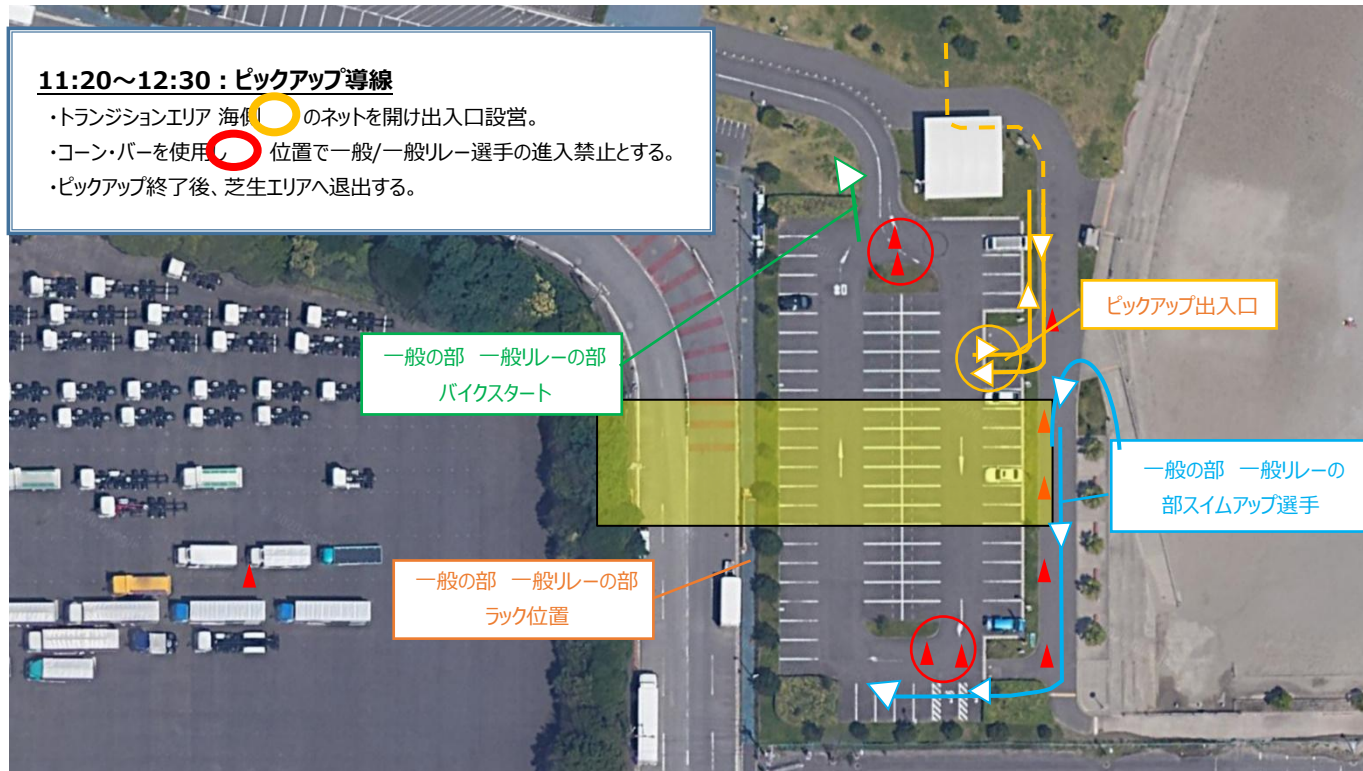
07:45～09:00 : チェックイン導線

- ・芝生エリアからトランジションエリアへ移動する。
- ・チェックイン用の入口と出口を設定し、一方通行の導線とする。
- ・チェックイン終了後、芝生エリアへ退出する。



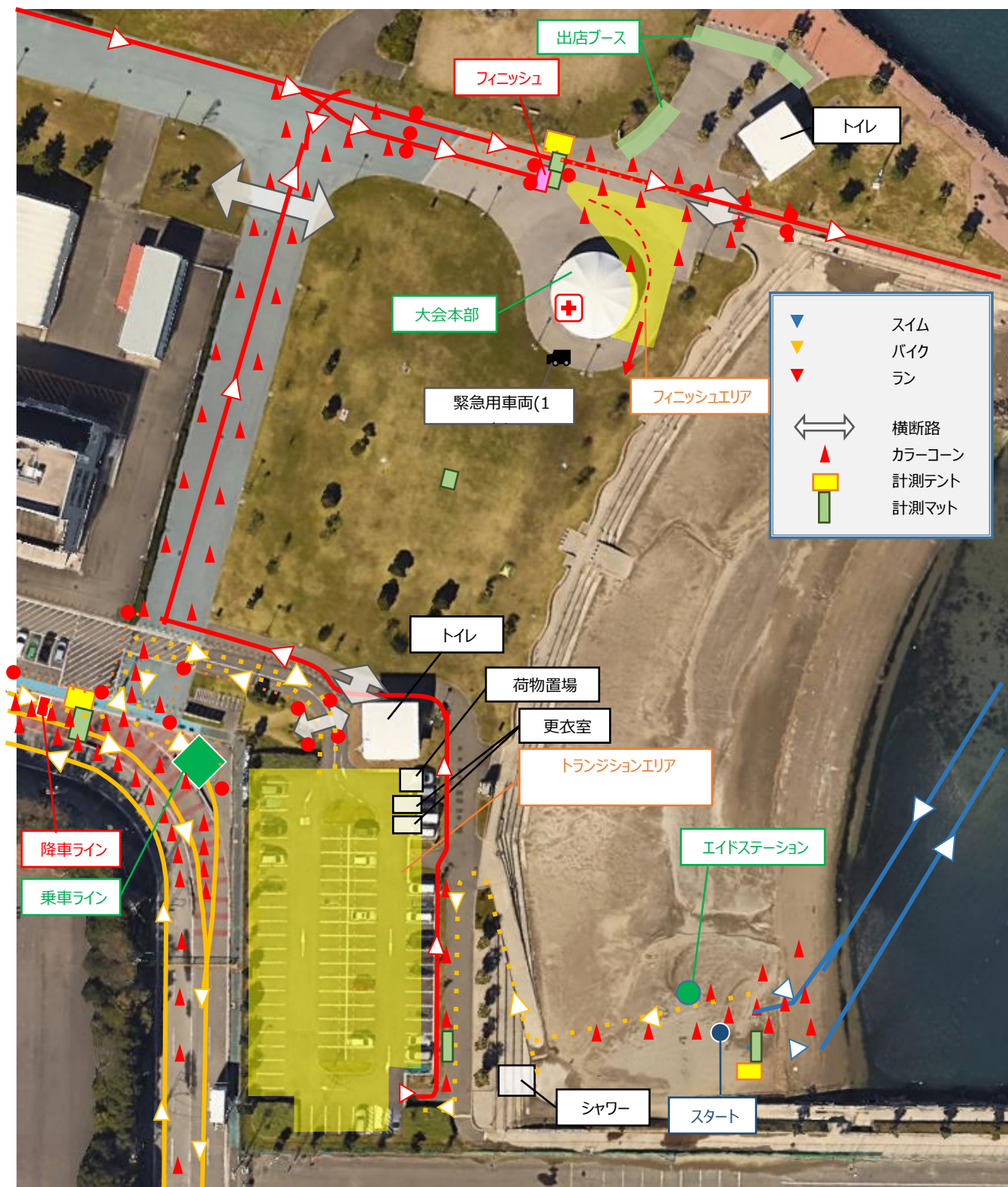
11:20～12:30 : ピックアップ導線

- ・トランジションエリア 海側 のネットを開け出入口設営。
- ・コーン・バーを使用し、位置で一般/一般リレー選手の進入禁止とする。
- ・ピックアップ終了後、芝生エリアへ退出する。

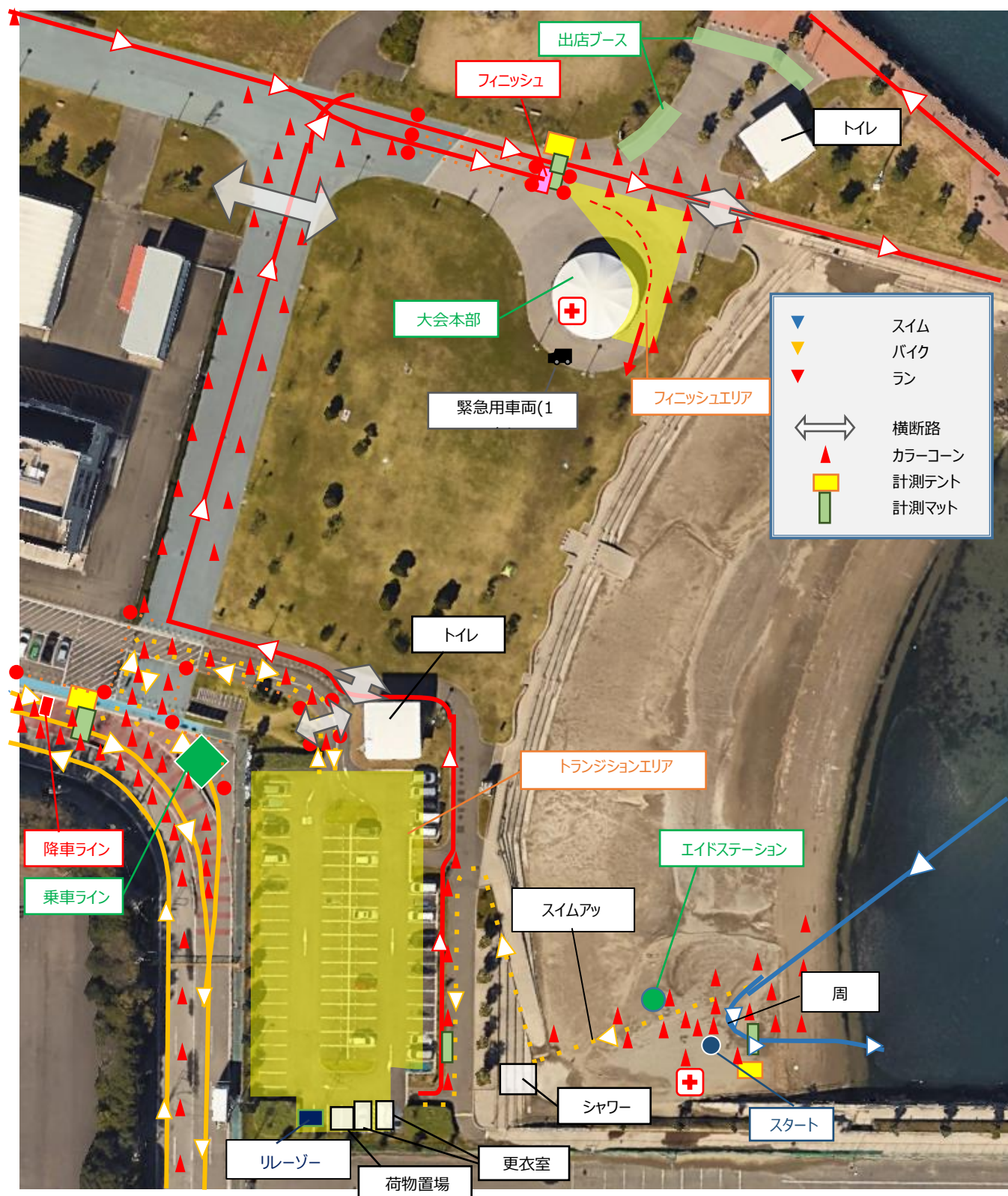


4. コース詳細図(大会本部・トランジション周辺)

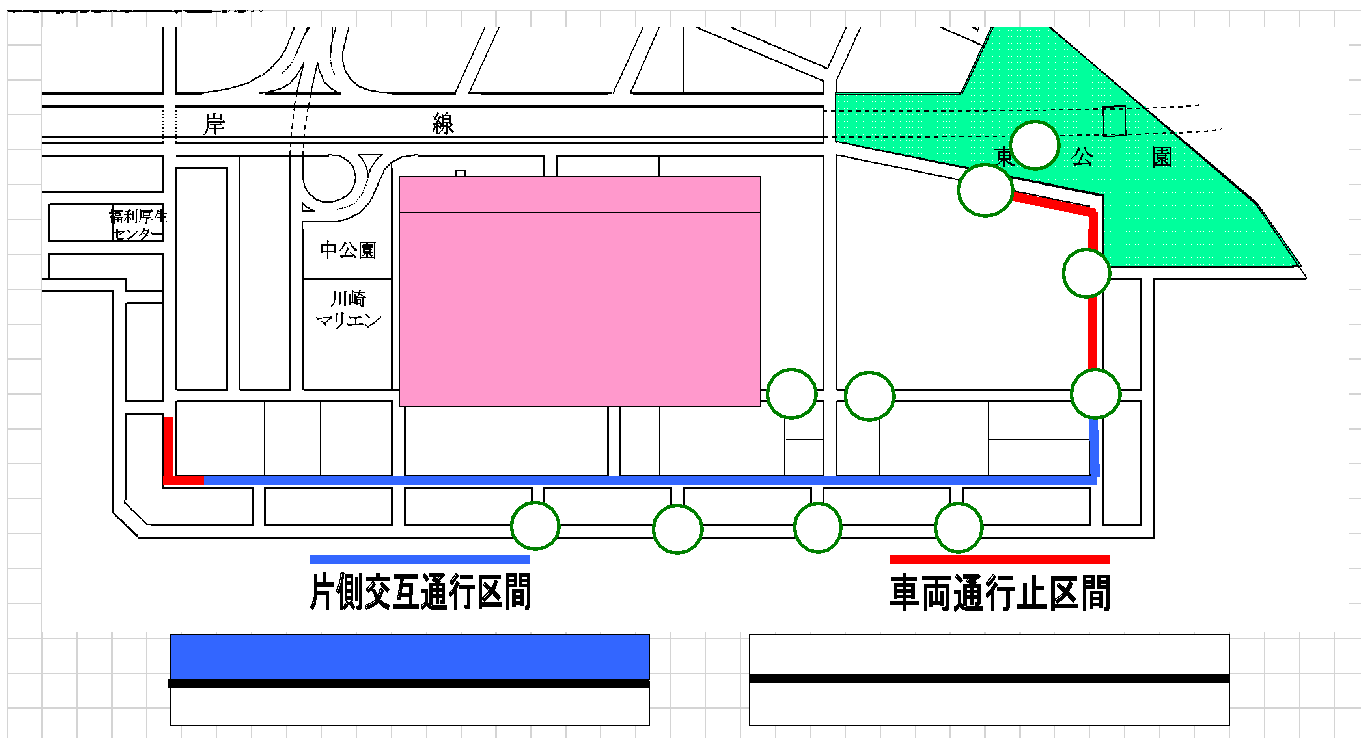
09:00～10:00 頃：キッズの部、ジュニアの部



10:00～16:00 頃 : スプリント/一般リレー部/一般の部



5.警備員配置図（バイクコース）



1 改版履歴

版数	作成日	改版内容	改版者
v 1	2023/08/28	2022 運営マニュアルから COVID 対策削除、重複削除	小金澤
V 2	2023/09/09	新津 TL コメント追記、スケジュール修正	小金澤